

信州大学新学部誘致の経過

■令和3年10月

- ・中村宗一郎学長が就任記者会見において情報系の新学部設置の検討について言及
- ・飯田市が新学部誘致を表明

■令和3年11月

- ・長野市が誘致を表明

■令和4年1月

- ・飯田下伊那地域の官民が一体となり信州大学新学部誘致推進協議会を設立

■令和4年5月

- ・信州大学からの照会を受け、飯田市と長野市が新学部構想に対する支援内容を提示

■令和4年6月

- ・令和4年度信州大学新学部誘致推進協議会総会を開催
- ・中村学長が新学部の設置目的や養成する人材像について議論を尽くす必要がある旨を飯田市、長野市の両市に伝える

■令和5年7月

- ・令和5年度信州大学新学部誘致推進協議会総会を開催

■令和5年7月31日

- ・信州大学理事が、情報系人材の養成に関する大学側の方向性を飯田市、長野市の両市に伝える

■令和5年8月3日

- ・中村学長が、信州大学ホームページにコメントを掲載

<信州大学における情報系人材養成について>

信州大学における情報系人材の養成につきましては、大学内に検討組織を立ち上げ、検討を続けてまいりましたが、昨今の社会情勢等を踏まえまして、理工系の大学院レベルでの高度情報専門人材養成を拡充することによって対応することといたしました。

引き続き、社会に求められる人材養成の強化充実に向けて検討を進めてまいります。本学の結論について、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

■令和5年8月4日

- ・信州大学新学部誘致推進協議会会長が、協議会メールマガジンでメッセージを発信

昨日(8/3)、信州大学のホームページに「信州大学における情報系人材養成について」という中村学長のコメントが掲載されました。

内容は、信州大学における情報系人材の養成については、学部レベルではなく、理工系の大学院の拡充で対応していくというもので、国の支援状況の動向を踏まえ、信州大学として情報系人材の養成方法の方向性を整理したものと捉えています。

当地域としましては、先日行われた信州大学新学部誘致推進協議会総会で確認したとおり、情報系の分野に限らず、他の分野も念頭に置いて大学のあるまちの実現に向けて取り組み、活動方針に従って新学部誘致を進めていく方針に変わりはありません。

技術革新や人材育成の拠点となり、地域を支えてきた各種主体との相乗効果を生み出す原動力の一つとして、4年制大学はこの地域に必要です。

これまで行ってきた大学と連携した取組や、地域の特徴や将来性、目指す姿等を整理し、新学部設置の必然性を持つ分野、当地域の強みを生かせる新たな発展領域(GX等)を念頭に、4年制大学の設置実現を目指していきたいと思っております。

引き続き、地域一丸となって誘致に向けた取組を進めていきたいと思います。